



第 18 回 文京区医師会学術集会 抄録

令和 2 年 2 月 2 9 日 (土)

於 文京区医師会館 1 F ホール

第 I 部 座長： 清家 正弘 (医) ・ 直江 礼子 (看)

1. 「後天性内斜視に対するボツリヌス毒素治療」

Botulinum toxin therapy for acquired esotropia

CS眼科クリニック 宇井 牧子

【緒言】近年、後天的に発症する内斜視が増加しており、スマートフォンを含むデジタルデバイスの影響が懸念されている。後天性内斜視に対する A 型ボツリヌス毒素(BTX)治療について検討する。

【対象と方法】複視を主訴に受診した神経学的異常のない後天性内斜視で、内直筋へ BTX を注射した 5 例(男性 4 例、女性 1 例、12~42 歳(平均 23.8±10.9 歳))について、後ろ向きに検討した。

【結果】投与回数は 1~8 回(平均 4.6±2.6 回)、投与量は 1.25~14.0 単位(平均 5.6±3.2 単位)であった。投与前斜視角は 16~50PD(平均 32.2±11.28PD)、投与後斜視角は-4~6PD(平均 5.4±10.3PD)で、全例斜位または正位となって複視が消失、立体視は改善した。合併症として一過性眼瞼下垂を 7 回(30%)で認めた。観察期間は 18~31 ヶ月(平均 22.4±4.8 ヶ月)で、最終 BTX 注射から 1 年以上再発なしが 4 例(80%)、再発あり反復注射予定が 1 例(20%)であった。

【結論】後天性内斜視に対し、外眼筋への BTX 注射は有効と考えられた。

2. 「外来インスリン導入による血糖コントロールに関して」

むらい内科循環器クリニック 村井 綱児

糖尿病は、患者さん本人が気付かないうちに、コントロールが悪くなる。高血糖の持続により、昏睡状態や脳血管障害などに陥ることもあり、ケトン体やアシドーシスを認める場合は合併症の確認および早期の血糖コントロール目的に入院加療が第一選択である。しかし糖尿病コントロールが非常に悪い症例でも、仕事が忙しく、入院加療困難な症例もいる。入院加療困難症例に対し、医療連携を通じた合併症の確認および外来でのインスリン導入を行うことにより、比較的速やかに糖毒性を解除し、内服へ移行していくことができた症例を通し、重症糖尿病治療を検討する。

3. 「大型連休中における整形外科休日診療の患者調査」

本郷整形外科 金 吉男

【はじめに】2019年のゴールデンウィーク期間中、本来平日であった4月30日（火）5月1日（水）5月2日（木）の3日間休日診療を行ったので、その患者調査を報告する。

【対象と方法】3日間に受診した82例中、予約にて来院された症例を除く初診37例を対象とし、外傷により受診した外傷群、慢性疾患の悪化で受診した急性増悪群（以下慢性悪化群）、その他慢性群に分類した。さらに、外傷群、慢性悪化群のうち、発症後5日以内の受診で初診時何らかの応急処置が必要とされた症例を緊急群とした。また、当院診療情報の入手方法と他院あるいは大学病院からの紹介患者の有無を調査した。

【結果】対象となる初診患者は37例。男性22例（平均年齢35.3歳）女性15例（平均56歳）。外傷群15例、慢性悪化群12例、慢性群10例であった。外傷群＋慢性悪化群は全体の72.9%、その中で緊急群は15例（55.5%）であった。診療情報入手方法は当院および検索エンジンなどのホームページが27例、電話問い合わせが9例であった。他院および大学病院等からの紹介患者は存在しなかった。今回、症例供覧を含めて報告する。

4. 「地域における訪問看護師の活動～A町会での実践より～」

訪問看護ステーションけせら 佐藤 美雪

訪問看護師は、すまい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供することを目的とした地域包括システム構築に関与し医療と介護の連携を図らなければならない。そのために、対象者を取りまく地域包括システムの全体像を把握し、地域の問題を捉え解決策を提案できるものとされている。今回、A町会において住民からのニーズをキャッチし「いろいろ話の会」として介護に関わる活動を行った。その結果から、地域の健康問題に対する情報の発信拠点として訪問看護ステーションが果たす役割について考察したので報告する。

5. 「ICTを活用した訪問看護ステーション運用の一例」

ケアーズ訪問看護リハビリテーション文京後楽 川原 志津

地域包括ケアシステムの構築に向け多職種間の連携・協働のためICT化が着目され、日本再興戦略改訂2015・2016に沿って取り組みが推進されている。

しかしながら、訪問看護ステーションにおいて、内部の情報共有については多くの課題が残っていると推察される。

そこで訪問看護ステーション内部における情報共有の一助となることを期待し、A訪問看護ステーションにおけるステーション内情報共有の具体的内容を報告する。

第Ⅱ部

座長： 川田 真二郎（薬）・ 依田 泰（歯）

6. 「残薬整理バックを用いた介入症例」

文京区薬剤師会 島田 淳史

ブラウンバッグ運動とは、副作用や相互作用などの相談や、残薬確認を行うプログラムである。平成 28 年度調剤報酬改定において、「対物業務から対人業務へ」というテーマが挙げられ、薬局薬剤師は残薬確認を行い、患者の服薬支援や処方の見直しを医師に提案するなど、積極的な介入が求められている。高齢化社会における残薬問題は深刻であり、残薬解消により医療費削減及びアドヒアランス向上、さらには安全な医療の提供に繋がるため、文京区薬剤師会では残薬の現状確認と有効活用による医療費削減の取り組みを目的としたブラウンバッグ運動を行った。また文京区薬剤師会において従来のブラウンバッグの機能に加え、自宅で処方薬を 1ヶ所にまとめることができるバック（残薬整理バック）を開発した。残薬整理バックを用いた症例について報告した。

7. 「薬局からの問い合わせ事情」

文京区薬剤師会 宮川 拓也

薬局からの問い合わせは現在疑義照会を中心とした処方内容や処方せんの様式上の確認といったものが大半となっている。

今回、薬機法の改定や調剤報酬改定により、その問い合わせ事情が大きく変わると予想される。今回の薬機法改正より、「薬剤師による継続的な服薬状況の把握及び服薬指導の義務」が明記された。これは、投薬したら終わりではなく、服薬期間中も含め状況の把握と指導を行い、服薬期間中のフォローアップにより得られた情報を他の医療機関へ情報提供することである。

薬局からの情報提供の方法として従来の疑義照会だけではなく、トレーシングレポートも有効であり今後その件数も増えていくものと思われる。

これからの薬局は疑義照会やトレーシングレポートなどを活用し、患者に関する事項について情報共有を行い、医療機関やその他多職種との連携をより一層強化していくことが求められる。

8. 「ライフステージを見据えた”オーラルフレイル”の予防は可能か？

・ ・咬合高高径の低下は何をもたらすのか？ ・ ・ 」

文京瀧田歯科医院 瀧田 稔弥

古敷谷 昇(歯)、寺本 浩平(歯)、中島 榮一郎(歯)

医学の進歩により平均寿命は格段に伸びたが健康寿命との差は9年から12年となっています。これは支援介護を必要とするなどの健康上の問題で日常の健康的な生活に制限のかかる期間が9年から12年あることを意味し、高齢者のQOLの低下の防止、健康寿命をいかに伸ばすかという大きな課題を抱えることとなります。そのためには要介護状態の前段階であるフレイルの予防が健康寿命の延伸の鍵であることが言われており様々な研究が行われています。最近の研究ではオーラルフレイルが全身のフレイルの進行に大きく関与していることがわかってきており、些細な口のトラブルがフレイルの前段階であるプレフレイル期に現れることがわかってきています。

オーラルフレイルの概念は、1. 口の健康への意識の低下、2. 日常生活でのささいな口のトラブルの連鎖、3. かむ力など口腔機能の低下、4. 咀嚼障害や摂食嚥下障害など食べる機能の障害、の4つのフェーズから構成されています。

本発表ではオーラルフレイルのフレイルへの影響についての概念とそれぞれのステージにおける医療分野の役割について、そしてプレフレイル期の具体的な歯科連携医療の症例の発表を通じ、健康長寿社会を目指すために何ができるのかを考えるきっかけとなればと思います。

9. 「不定愁訴を持つ患者に歯科は何ができるのか？ ・ ・ 多数科にわたる主訴に対して ・ ・ 」

本郷こしきや歯科 古敷谷 昇

高木 知里(医)、中島 榮一郎(歯)

不定愁訴と思われる症状の治療には困惑することが多いものです。自科単独での治療が難しい場合は心当たりのある他科へ依頼することが多いと思います。治療が開始され症状の緩和へ向かえばよいのですが、目立った成果を見られずに患者さんが難民化するとの話もよく聞きます。

歯科が治療に介入できる症状も多いのですが、検査、診断、治療、経過観察がやや的外れ、または未熟であると効果が少ないばかりか、継発症が大きく悪化することがあります。

今回、各方面のご意見をお聞きしながら歯科医院での治療で症状緩和に向かった例を複数経験しました。そのうち2例をご報告いたします。

患者さんの幸せのために、医療者間の連携の第1歩は顔の見える関係の中での具体的な症例からと考えています。

令和2年2月29日 文京区医師会 学術集会 抄録

主催：文京区医師会

共催：文京区歯科医師会・文京区薬剤師会・訪問看護ステーション連絡会